

令和3年度使用中学校教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	採 択 理 由
国語	光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○「指導すべき内容」と「学ぶべき内容」とが、バランスよくまとまって掲載されている。 ○教材ごとに目標が明示され、その教材で身に付けるべき力の焦点化が図られている。 ○情報を活用する力が集中して高められる工夫がある。
書写	光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての学習ページに「学習の進め方」と学習のポイントが一目でわかる「学習の窓」を示し、見通しをもって主体的に学ぶことができるようにしている。 ○「書写ブック」を新設し、毛筆で学習したことを繰り返し学習できる。
社会 (地理)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題について、写真・グラフ・地図などの資料を使って考え、まとめることで基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることができる。 ○「地理スキル・アップ」「調査の達人」によって読図や作図などの技能を高めるとともに、章末のみんなで考える頁で思考力・判断力・表現力等をも高めるための工夫がある。
社会 (歴史)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面にA B判を採用し見やすくしている。 ○「身近な地域の歴史」を調べることを通して社会の形成者としての資質を養ったり、現代の事例を通して身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識を高めたりできるよう配慮している。
社会 (公民)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入」「展開」「まとめ」の単元構成の中で、対話的活動を取り入れながら主体的に学習を進めることができる。 ○生徒の話し合いや興味関心を高める場を多く設定している。
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史、公民的分野との関連付けを図っている。 ○紙面にA版を使用し、広範囲を細かく掲載していること、赤色の文字を黒色で縁取りや小さい文字を白色で縁取りするなど、複雑な地図を可能な限り見やすい配色にしている。
数学	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成により、学校と家庭での学習が充実するよう工夫されている。 ○章末問題や巻末問題も豊富にあり、生徒の学習内容の定着の助けになる。
理科	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭で「科学的な探究の流れ」が示されており、学習の進め方がわかるようになっている。 ○実験の疑似体験ができるデジタルコンテンツにQRコードでアクセスできる。

		○育てたい3つの能力を育成するための内容が生徒の発達段階をふまえてバランスよく配置されている。
音楽 (一般)	教育芸術社	○教科書への書き込みできる箇所が多く、手順に沿って学習を進めることで、生徒も教師もともに学びやすい構成になっている。 ○音楽をとおして視野を広げ、より幅広い価値観を養うことができる教材・資料が提示されている。
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社	○和楽器以外の打楽器も、それぞれの奏法を示し丁寧に説明している。 ○表現と鑑賞の領域を横断する教材が示されており、多様な角度から学ぶことができるよう工夫されている。
美術	日本文教出版	○表現と鑑賞の一体化や美術的・造形的な視点の重視、美術作品の美しい掲載等、美術の芸術としての要素を大切にしたつくりになっている。 ○各題材に「造形的な視点」を示し、活動を通して美術的な視点に気づき、自然に身につく工夫がされている。
保健体育	東京書籍	○章の扉には、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。 ○学びの道筋が見える構成になっていること、保健編、体育編の内容が学年ごとにまとめら、各章末に、章末資料、確認の問題、活用の問題、学習のまとめや自己評価の欄があり学習しやすい構成になっている。
技術・家庭 (技術)	開隆堂出版	○PDCA サイクルを意識した構成となっており、課題の設定から振り返りまでが1単元で実施できるようになっている。 ○図や写真などが多く使われており、視覚的に理解が深まる工夫がされている。
技術・家庭 (家庭)	開隆堂出版	○3つの内容 A (家族・家庭生活)、B (衣食住の生活)、C (消費生活・環境) を関連づけて学習できるように工夫して構成されている。 ○学習の目標や学習活動が一覧で示され、見通しがもてる構成になっている。
英語	東京書籍	○入学(4月)から夏休みの期間を小中接続期として、小学校の学習の流れを生かした構成になっている。 ○Preview を新設し、「3段階読み」を特徴とした音読を重視したものになっている。
道徳	日本文教出版	○本冊「あすを生きる」と別冊「道徳ノート」の2冊になっている。 ○「道徳ノート」では、授業スタイルに合わせて柔軟に対応でき、深く考え議論できる工夫がある。